

第 61 号・令和 8 年 5 月

# 農業会議だより

発行：一般社団法人佐賀県農業会議



佐賀県稲作経営者会議青年部研修会の参加者

## 【内容】

1. 農業会議理事会で令和 8 年度事業計画を承認
2. 唐津市農業委員会の改選で新会長が就任、女性農業委員の紹介
3. 市町農業委員会会長等研修会を開催
4. 農業委員会でのタブレット活用事例
5. 鹿島市農業委員会の取り組み
6. 頑張る若手農業者（白津宗久さん・唐津市浜玉町）
7. 稲作経営者会議青年部視察研修会
8. さが農水産業働く環境サポート補助金の募集
9. 農業者年金の加入推進について
10. 全国農業新聞の普及推進、全国農業図書を紹介
11. 農業会議職員の紹介
12. 常設審議委員会の処理状況について
13. 今後の行事予定について

## 1. 農業会議理事会で令和8年度事業計画を承認

農業会議は3月25日に佐賀市で「第20回理事会」を開催し、令和8年度の事業計画及び収支予算書の設定について承認されました。

令和8年度の事業計画の主な内容は以下のとおりです。

### (1) 総会等の開催

- ・ 総会・・・年1回（令和8年6月15日）
- ・ 理事会・・・年2回（令和8年5月22日、令和9年3月下旬）
- ・ 監査、役員会・・・年1回（令和8年5月18日）

### (2) 常設審議委員会・・・毎月15日予定、30a超の農地転用案件の審議

### (3) 要請活動

農業者等の意見を集約し、国・県・議員へ政策要望。全国会議にも参加

### (4) 機構集積支援事業

農地利用最適化を推進するため、農業委員・推進委員、職員研修を実施  
プラスワン運動を推進

### (5) 所有者不明農地対策事業

県内4地域を重点支援し、専門家と連携して解消に向けた取組を支援

### (6) 農業者年金事業

農業委員・推進委員による農業者年金制度の周知活動を強化

### (7) 雇用就農資金事業

農業法人が行う研修を支援し、新規就農者や独立希望者を後押し

### (8) 情報提供事業

全国農業新聞、全国農業図書の普及推進、農業会議だよりの発行

### (9) 農業経営者サポート事業

農業経営・就農支援センターの事務局として、法人化や経営継承を支援

### (10) 農水産業の多様な人材確保環境整備事業

女性や外国人など多様な人材が働きやすい環境整備を支援

### (11) 企業的農業経営推進事業

若手農業者の育成のため、セミナーの開催や優良経営体の事例収集を実施

## 2. 農業委員会改選で新会長が就任

令和8年4月に唐津市で農業委員会の改選が行われ、新会長が就任されました。

### 唐津市農業委員会 会長 阿部 太 氏

農業振興と地域農業のさらなる発展のため、農業委員と農地利用最適化推進委員がより一層連携を深め、農地利用の最適化を力強く推進してまいります。また、農地行政の適正な運営に努め、地域の皆さまから信頼される農業委員会活動に取り組んでいく所存です。



---

### 女性農業委員の紹介

唐津市の女性農業委員に選任の経緯や力を入れたい活動、抱負等についてインタビューをしました。

#### 能隅良子さん・2期目

- ◎担当地区：相知町
- ◎選任経緯：JAからつ女性部から推薦
- ◎経営作物：米（20a）、農産加工（豆腐、味噌）
- ◎趣味：ガーデニング
- ◎力を入れたい活動：農業者年金の加入推進



#### 打越映子さん・1期目

- ◎担当地区：唐津市菜畑
- ◎選任経緯：JAからつ女性部から推薦
- ◎経営作物：米（1ha）、玉葱（1.7ha）
- ◎趣味：英会話
- ◎抱負：女性の活躍を後押ししたい



### 3. 市町農業委員会会長等研修会を開催

農業会議は3月22日に佐賀市で「市町農業委員会会長等研修会」を開催しました。農業委員会会長、副会長等が参加し、農業政策の現状について理解を深めました。



研修会では、農林水産副大臣の山下雄平氏を講師に迎え、「今後の農業施策の展開方向」をテーマに講演。山下氏は、食料自給率向上に向けた取組として、農地の維持と水田の有効活用の重要性を強調されました。主食用米中心の生産から、麦・大豆・飼料用作物や加工・業務用米への転換を進める必要性も示され、需給

バランスの安定が課題として挙げられました。

また、農業者の高齢化が進む中、新規就農者の確保と経営定着が重要課題であり、就農準備資金の増額（年150万円→165万円）や新規就農者に対する機械・施設の補助上限引き上げ（個人1,500万円、法人3,000万円）など支援制度の拡充についても説明されました。

さらに、中山間地域における農業維持の重要性にも触れ、「効率性だけでなく、地域の営みを守る視点が大切」と強調されました。

講演後の意見交換では、参加者から現場の実情を踏まえた多くの意見・要望が出されました。



山下副大臣は、「農業政策は現場の実情を踏まえてこそ機能する」と述べ、寄せられた意見を今後の政策検討に反映していく考えを示されました。

参加者からは、有意義な研修会だったとの声が聞かれ、地域農業の持続に向けた課題と方向性を共有する機会となりました。

## 4. 農業委員会でのタブレット活用事例

### ●太良町農業委員会

#### 【概要・活用状況】

- ・委員会体制：農業委員 8 名、農地利用最適化推進委員 11 名、事務局 4 名
- ・導入時期：令和 4 年～（国費導入）
- ・導入台数：全農業委員・推進委員分 19 台
- ・申請対象農地の現地確認、農地パトロール（現地確認アプリを活用）、総会資料のデータ配付に活用

#### 【操作研修の実施方法】

- ・農地パトロール時期前に研修会を実施し、必要に応じて農業会議に講師を依頼
- ・操作方法が分からない場合は個別で事務局が対応

#### 【活用による効果・課題】

- ・総会資料：郵送であれば手元に届くまで数日かかるが、タブレットでメール送付すればすぐに確認できる
- ・現地確認：現在地がすぐに確認でき、対象農地の位置が確認しやすくなった
- ・タブレットの操作方法を理解するまでに時間がかかる
- ・使用しないと操作方法を忘れてしまうため、定期的にも使用してもらう必要がある



農業会議では令和 8 年度からタブレット（iPad）を10台まで貸出します。未導入の農業委員会は是非ご活用ください。

## 5. 鹿島市農業委員会の取り組みについて

### 【農業委員会の体制】

任期：令和7年4月1日～令和10年3月31日

体制：農業委員12名、農地利用最適化推進委員19名  
事務局6名（うち2名会計年度任用職員）

### （1）鹿島市の概況

鹿島市は、佐賀県の西南部に位置し、東には有明海が広がり、西は多良岳山系に囲まれ自然環境に恵まれたところです。就業者による産業別構成は、第一次産業は減少傾向にあります。就業人口の割合が県内10市で最も高いことが本市の特徴です。

### （2）農業委員会の取り組み

鹿島市では、毎年「農業者との意見交換会」を開催し、農業者の方々からの意見聴取を行っています。

昨年は、11月12日、13日に東西2地区で開催し、「10年後の耕作者」をテーマとして行い、認定農業者、新規就農者、農業法人、関係機関など約60人が出席し、活発な意見交換が交わされました。

意見・要望の内容については、集約して市長へ意見書を提出しました。

意見書の項目は下記のとおりです。

- ① 有害鳥獣等被害防止対策について
- ② 中山間地域等直接支払制度について
- ③ 担い手（10年後の耕作者）の確保について
- ④ 多良岳パイロット地区の遊休農地対策と農業用施設の更新について
- ⑤ 物価高騰対策について
- ⑥ 農業基盤の整備について
- ⑦ 農地の集積・集約化について
- ⑧ 農業委員会事務局職員の適切な人員確保とDX化の推進について



意見交換会の様子



市長への意見書提出

## 6. 頑張る若手農業者 白津宗久さん（唐津市浜玉町）

徹底した管理で収量3倍へ！！ 若手ミカン農家・白津さんの挑戦

唐津市浜玉町で施設ミカン2haを経営する白津宗久さん（38）は、ここ数年の収量増に大きな手ごたえを感じられています。現在の反収は、22歳で就農した当時と比べて大幅に向上。ハウスミカンは3tから8tへ、不知火は3tから7tへと増え、品質も部会でトップレベルに達しています。



「ここまでに至る道のりは決して平坦ではなかった。父から経営を引き継いだ当初は、栽培管理の知識や技術が十分でなく、思うように収益が上がらない日々が続いた」といいます。

そこで白津さんは、経営規模をあえて縮小し、栽培管理の基本である土づくり、摘果、剪定を徹底。1本1本の樹に目が行き届くよう管理体制を見直しました。防除についても、機械を使えば効率は良いが散布ムラが生じ品質低下につながるため、あえて手掛けで丁寧に行うことを選び、手を抜かない姿勢を貫いています。

「農業では稼げないというマイナスイメージを変えたい」、「しっかり栽培管理を行えば農業でも稼げることを伝えたい」と語る白津さん。昨年5月には、愛知県などのハウスミカン農家を視察するなど、常に向上心を持ち続けています。

また、白津さんが大切にしているのが、「楽しく真面目に、美味しいミカンを作る」という経営理念です。家族との会話を欠かさず、日々の作業や経営判断について意見を交わしながら笑顔で働ける環境づくりを心がけています。

今後は法人化も視野に入れ、さらなる経営の発展を目指しています。

## 7. 佐賀県稲作経営者会議青年部が現地視察研修会を開催

佐賀県稲作経営者会議青年部（会長 江頭幸一郎）は、2月26日、白石町で視察研修会を開催し、会員20人が参加。地域農業の担い手としての経営力の向上を目的に同町の(有)定松ファーム（代表 定松右樹）と(有)岩石農産（代表 岩石学）を視察しました。

両法人とも米・麦に加え、キャベツやタマネギを組み合わせた土地利用型農業を展開され、大区画化した農地を活用した効率的な生産体制を構築されています。

視察では、作業管理システムや自動操舵トラクター、ドローン防除の取り組みについて紹介。スマート技術によって作業の見える化が進み、効率化や人手不足の解消に役立つこと等の説明を受けました。

参加者は「スマート農業の導入は、コスト面の課題もあるが、経営の安定につながると感じた」、「規模拡大と省力化を両立させている点が参考になった」と感想を述べ、活発な意見交換が行われました。

青年部では、今後とも先進事例の研修や会員同士の交流を重ね、地域農業を担う経営者として、経営の安定と発展を目指していくこととしています。



定松ファーム 視察の様子



岩石農産 視察の様子

## 8. さが農水産業働く環境サポート補助金の募集

# さが農水産業働く環境 サポート補助金



移動式トイレや更衣室の導入、休憩室の設置、外国人を受け入れるための社員寮の改修など、農水産業の働く環境の改善の取り組みに必要な経費の一部を支援します！

※この補助金は、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用しています。

### 申請受付期間

令和8年4月9日(木)～5月15日(金)消印有効

二次募集期間 令和8年6月10日(金)～7月3日(金)(一次募集で目標数に達しなかった場合)

### 補助金説明会

※詳細は、佐賀県農業会議のHP等で確認してください。

第1回:令和8年4月13日(月)・第2回令和8年4月27日(月)

### 補助金概要

対象 県内の農業・漁業者等

補助率 3分の2以内

補助金額 30万円(下限)～500万円(上限)

要件 事業実施年までに常時使用する従業員が1名以上ある者かつ以下の①から③のいずれかに該当する者または④に該当する者。

- ①令和7年1月～12月までの1年間の合計売上高が令和4年～令和6年の1年間の合計売上高と比較して10%以上減少していること
- ②令和7年1月～12月までの1年間の合計生産原価が令和4年～令和6年の1年間の合計生産原価と比較して4%以上増加していること
- ③令和7年1月～12月までの1年間の合計粗利益額が令和4年～令和6年の1年間の合計粗利益額と比較して3%以上減少していること  
(但し、①～③において令和7年1月～12月までの連続する3か月と令和4年1月～令和6年12月までの連続する同3か月との比較でも可)
- ④申請時に開業1年3ヶ月未満の場合、以下のいずれかに該当する者  
(ア)農業者は、市町等が認定する農業経営改善計画又は青年等就農計画において、1名以上の雇用を導入する計画となっていること  
(イ)漁業者は、申請時までに1名以上の雇用の実態がある又は導入する計画となっていること

※採択者は審査の上、決定します。申請により補助金交付が約束されるものではありません。

※予算額よりも申請額が多くなった場合については、農福・水福連携の取組、雇用人数(実質)や前年度の採択状況等を考慮して優先順位を決定する場合があります。

#### ◆補助金活用例



【お問い合わせ先及び申請書提出先(事業の実施者)】一般社団法人佐賀県農業会議  
〒849-0925 佐賀県佐賀市八丁畷町8-1 ☎ 0952-20-1810

佐賀県農業会議  
<https://www.sanoukai.jp/>

© 2025 Saga Prefecture.



## 9. 農業者年金の加入推進について

昨年度も農業者年金の加入推進にご尽力いただき、本当にありがとうございました。

県で定めた新規加入者の目標達成率は **122%** で **目標+11 名**、農業者年金基金が定めた目標達成率は、

【全体】 **151.2%** (全国 3 位)

【20～39 歳 (若い農業者)】 **132.0%** (同 4 位)

【女性】 **125.0%** (同 7 位)

という好実績で、いずれの部門でも目標を大きく上回ることができました。

また、**白石町農業委員会**におかれては、下記の部門で「**農業者年金表彰理事長賞**」を受賞されました。7月28日に開催予定の加入推進特別研修会内にて表彰させていただきます。

新規加入者部門	19 人	全国第 5 位
新規加入者 (女性) 部門	11 人	〃 第 2 位
目標達成度合い (新規加入目標数 5 人から 9 人) 部門	目標 6 人 加入 19 人 317%	〃 第 3 位

### ○令和 7 年度新規加入実績○

市町名	目標	実績	達成率	市町名	目標	実績	達成率
佐賀市	7	11	157%	吉野ヶ里町	1	0	0%
唐津市	11	12	109%	基山町	1	0	0%
鳥栖市	1	1	100%	上峰町	1	0	0%
多久市	1	0	0%	みやき町	1	1	100%
伊万里市	3	1	33%	玄海町	2	1	50%
武雄市	1	3	300%	有田町	1	1	100%
鹿島市	2	2	100%	大町町	1	1	100%
小城市	3	6	200%	江北町	1	1	100%
嬉野市	2	2	100%	白石町	6	19	317%
神埼市	2	0	0%	太良町	3	0	0%
				計	51	62	122%

○令和8年度新規加入目標○

市町名	目標	加入率	市町名	目標	加入率
佐賀市	7	31.8%	吉野ヶ里町	1	17.8%
唐津市	9	25.6%	基山町	1	6.1%
鳥栖市	1	20.2%	上峰町	1	36.4%
多久市	1	21.5%	みやき町	1	35.7%
伊万里市	3	20.7%	玄海町	2	27.6%
武雄市	1	35.8%	有田町	1	34.7%
鹿島市	2	29.3%	大町町	1	30.0%
小城市	2	29.9%	江北町	1	37.5%
嬉野市	2	23.1%	白石町	6	32.3%
神埼市	2	17.0%	太良町	2	12.9%
			計	30	26.9%

**目標「1委員・1年・5人以上への周知活動を実施」**

今後農業を支える若い農業者や女性等に制度の特色が広く理解され、加入につながることで、農業への定着や経営の安定等が期待されます。

若い農業者や女性農業者をはじめ、農業者年金制度を

**「知らない」で加入できなかったという農業者をなくす**

ことを目標にしながら、「1委員・1年・5人以上への周知活動」を合言葉に、引き続き制度の普及・加入推進をよろしくお願いします。

★加入対象者がいない… という地域は、ご夫婦やご家族へのアプローチが効果的です。積極的に女性への推進をお願いします！

**女性農業者の老後生活の収入も、国民年金+農業者年金が基本です！**

国民年金の支給額は月額最高約6万9千円、夫婦お二人で約13.8万円です。一方、高齢農家の家計費は夫婦お二人で約25.1万円が必要です。→月額約10万円不足！

農業者年金が国民年金の不足分をしっかりとカバーします！

ご主人だけの農業者年金加入では、ご主人の死去後は奥様の収入は国民年金だけになってしまいます。奥様も加入されることで老後が安心なものになります。

## 10. 全国農業新聞の普及推進、全国農業図書を紹介

### ○全国農業新聞の普及推進

**改選市町は、退任委員の継続購読と新任委員の早期皆購読をお願いします！**

**唐津市農業委員会が委員皆購読を達成されました！！**

令和8年5月現在

市町名	目標	部数	目標達成まで	委員未購読数
佐賀市	187	131	56	5
唐津市	130	104	26	0
鳥栖市	55	30	25	0
多久市	53	36	17	0
伊万里市	80	55	25	4
武雄市	83	64	19	0
鹿島市	75	55	20	1
小城市	89	68	21	4
嬉野市	64	46	18	4
神崎市	74	53	21	2

市町名	目標	部数	目標達成まで	委員未購読
吉野ヶ里町	37	32	5	0
基山町	23	17	6	1
上峰町	19	13	6	2
みやき町	41	28	13	0
玄海町	32	23	9	0
有田町	37	31	6	2
大町町	20	15	5	0
江北町	37	31	6	0
白石町	68	54	14	0
太良町	46	30	16	0
農業会議	100	92	8	
	1,350	1,008	342	25

**農業委員・推進委員の新聞継続購読キャンペーン実施中！！**

**「全国農業新聞」を是非ご購入をお願いします！！**

農業委員会組織では、全国農業委員会会長大会の決議に基づき、農業委員・推進委員全員に「全国農業新聞」を購読いただく活動に取り組んでいます。



全国農業新聞は、農地利用最適化活動や地域計画のブラッシュアップなど各委員が地域で活動に取り組む上で参考になる情報が満載されています。また、農業者に役立つ最新の技術や先進農家の取り組み等を紹介しています。

**推進する立場の農業委員・推進委員の皆購読をお願いします**

# 全国農業新聞 普及推進キャンペーン

農業委員・推進委員の新聞継続購読！！



退任後も地域農業者の  
相談役としてご活躍を！！



【特典】 農業委員・推進委員を退任後も  
『全国農業新聞』継続購読で、1年ごとに  
QUOカード 1,500円分を進呈します。

※キャンペーン期間は原則3年間とし、その後の継続については検討します。

## 購読のメリット

- 農政の動きを毎週まとめて把握できる！
- 農業経営に役立つヒントが満載！
- 地域の農業振興に必要な情報収集ツール！

★農業委員・推進委員1人・1年・1部  
純増運動も実施中！！

農業委員・推進委員が新聞の購読者を  
確保すれば、1人につきQUOカード  
1,000円分を進呈します。

※ただし、100部に達成次第、終了 ※推進者自らの  
購読は対象外。

全国農業  
新聞

【問い合わせ先】  
一般社団法人佐賀県農業会議  
担当者：徳永  
TEL：0952-20-1810

## ○全国農業図書の紹介

### 農業委員会研修テキスト 1 農業委員会制度 第7版

#### ～農地利用の最適化の推進～

農業委員会制度の概要と農業委員・農地利用最適化推進委員・農業委員会の業務についてわかりやすく説明したテキストです。

今回の改訂では、農業委員会・農業委員・推進委員の役割に地域計画のブラッシュアップを追加。地域計画の変更の

「農業上の利用」を表で説明するなど一層充実しました。

研修教材として、総会・部会等での参考資料として幅広く活用できます。【税込 440 円】



### 農業委員会研修テキスト 2 農地法 第7版

#### R 6年度改正（R 7年度4月施行）に対応！

農地制度の概要や、農地法にもとづく農業委員会・農業委員の業務についてわかりやすく説明したテキストです。

今回の改訂では、R 6年度改正（R 7年度4月施行）の許可要件の新たな確認事項や農地所有適格法人の新たな確認事項を追加しました。

研修教材や総会・部会等での参考資料として幅広く活用できます。【税込 550 円】



### 4訂 農業委員・推進委員活動マニュアル

#### 「地域計画」の実現に向けて内容を一新！

「農業委員・推進委員が活動するために必要な情報を盛り込んだマニュアルです。農業経営基盤強化促進法等の改正に伴い、令和7年3月までに全国1万8633地区で「地域計画」が策定されたことを踏まえ、内容を一新しました。

第1章では農業委員会についての基礎知識や期待される役割について、第2章では農業委員会の業務内容について解説。第3章では「地域計画」の策定に向けて、どのように取り組めばよいのか、また、「地域計画」策定後のブラッシュアップをどう進めて行くかを具体的に紹介しています。【税込 770 円】



## 1 1. 農業会議職員の紹介

### 事務局職員と担当業務

令和8年4月1日現在

役職名	氏名	正	副
専務理事 兼事務局長	田代浩幸	事務局総括 規程、人事、サービス 行政機関に対する意見の提出 常設審議委員会 人材確保環境整備事業	
次長	武藤正則	専務理事兼事務局長の補佐 総会、理事会 地域計画 所有者不明農地対策 農業担い手Sプラス 農業法人協会	総務、業務関係の総括 プラスワン運動 機構集積支援事業 農業委員会職員協議会 担い手育成総合支援協議会 農業経営者サポート事業 農業経営法人化相談
業務課長	千代島路子	総務、業務関係の総括 総務事務、会計システム 機構集積支援事業 プラスワン運動 農業委員会職員協議会	総会、理事会 常設審議委員会 農業者年金業務 地域計画 農業簿記指導 所有者不明農地対策
係長	徳永新二	全国会長大会 育成資金、調査事業 全国農業新聞、図書、会議だより 農業委員会女性協議会 稲作経営者会議	行政機関に対する意見の提出 人材確保環境整備事業 農業委員会サポートシステム
主幹	山本智史	常設審議委員会 雇用就農支援事業	人材確保環境整備事業
コーディネーター	草場直	担い手育成総合支援協議会 農業経営者サポート事業 農業経営法人化相談 ナラシ積立金管理業務	農業担い手Sプラス 農業法人協会 稲作経営者会議
主事	稲富創	農業委員会サポートシステム 農業者年金業務 農業簿記指導	雇用就農支援事業 所有者不明農地対策 地域計画 農業担い手Sプラス 農業委員会女性協議会 農業法人協会
主査	妹脊浩	人材確保環境整備事業（農業）	
主査	柴山雅洋	人材確保環境整備事業（漁業）	
主査	江口満	農業担い手Sプラス	人材確保環境整備事業
嘱託	大塚加津子	総務、経理事務	
臨時職員	山口恵理香	庶務	総務、経理事務 全国農業新聞、図書

## 1 2. 常設審議委員会の結果について（3月・4月）

農地法第4条及び第5条の規定により県農業委員会ネットワーク機構（佐賀県農業会議）に意見を求められた案件について、常設審議委員会で審議されました。

第120回、第121回の件数及び面積については、下表のとおりです。

<農地法関係処理状況>

### 【審議件数】

回数	期日	区分	件数
第120回	3月16日	第4条	1
		第5条	4
第121回	4月15日	第4条	0
		第5条	4

### 【田畑別件数及び面積（㎡）】

回数	期日	区分	田		畑		計	
			件数	面積	件数	面積	件数	面積
第120回	3月16日	第4条	0	—	1	3,592	1	3,592
		第5条	4	15,208	1	998	4	16,206
第121回	4月15日	第4条	0	—	0	—	0	—
		第5条	4	14,817	1	1,921	4	16,738

※田・畑混合の案件があるため、件数の計が一致しない。

## 1 3. 今後の行事予定について

月	日	時間	場 所	内 容
5	12	13:30	長崎県南島原市	農業委員会女性協議会視察研修会
	13	13:30	グランデはがくれ	第2回農業委員会新任職員研修会
	15	13:30	佐賀総合庁舎	第122回常設審議委員会（Web併用開催）
	18	14:00	佐賀総合庁舎	農業会議監査・役員会
	22	13:30	グランデはがくれ	第21回農業会議理事会
	25	13:00	佐賀県農業大学校	農業委員会サポートシステム操作研修会・1日目
	26	10:00	佐賀県農業大学校	農業委員会サポートシステム操作研修会・2日目
	29	13:30	グランデはがくれ	農業委員会職員協議会総会・研修会
6	2	13:00	東京都	全国農業委員会会長大会
	3	9:00	東京都	県選出国會議員への要請活動
	11	10:00	グランデはがくれ	農業者年金担当者研修会
	15	10:30	グランデはがくれ	第123回常設審議委員会
	15	13:00	グランデはがくれ	農業会議総会、理事会
	15	15:00	グランデはがくれ	農業委員会会長会議
7	3	10:00	JA会館	農業者年金記録管理システム研修会
	15	13:30	グランデはがくれ	第124回常設審議委員会
	28	13:30	グランデはがくれ	農業者年金加入推進特別研修会
	31	13:30	佐賀県農業大学校	複式農業簿記講習会（基礎講座）

※4月末時点の予定ですので変更もあります。公文書の確認をお願いします。

**ご予約お願いします！！**